



三日まで文部省の海外派遣で、アメリカ、メキシコの教育、文化等の視察研修に参加させていただきました。出発までの事前研修や準備では、言葉や研修内容にとても不安でしたが、アメリカに到着したら、広大な土地と、親切な人々と会え片言の英語でも十分会話ができ、すっかりリラックスできました。いろんなところでもボランティアの活躍を見ることがあり、とても親切な国柄のようでした。アメリカのあとはメキシコに行つたのですが、メキシコ

ここに、こんな人が……

まり」つくり  
を生きがいに  
尾花ワキさん(93)  
(日添)

シコシティは海拔二四〇〇  
米もあり、真青な空がとて  
もきれいです。空気が薄い  
ので慣れるのにちょっと時  
間がかかります。このメキ  
シコでは、小さな町で一週  
間滞在して学校訪問や地域  
の実態調査をしました。

小学校を訪問したときは  
盛大な歓迎会があり、国旗  
セレモニーや民族舞踊を披露  
していましたが、愛国心や  
伝統を継承する教育が徹底  
しています。また外国から

のお客様に対する歓迎の気持ちがすべてに表われております。メキシコは、経済的に恵まれていないため生活状態もよくありません。小学校は午前中授業、中学校は、午前、午後の部に分けられ地方によつては、夜の部があるそうです。中学校が三部制になっているのは、中学生も働いています。一家の生活を支えるために家族全員が働いています。

文部省海外派遣研修に参加して

子どもも働き手の一人となつてあります。学校の施設、設備も十分ではあります。が、子どもも先生方も楽しい学校生活を送つていて日本のような問題は少しもないようです。町の人々もとても親切で笑顔でいさつを交わし接してくれます。陽気で歌の好きなメキシコの人々です。経済的に恵まれていないものの心の豊かさは最高です。今回の研修では、外国の教育・文化のすばらしさと同時に日本の良さと課題について学ぶことができたことに感謝しています。(平岡小教頭)

作業着に幾つも付けしいのこづち  
草刈り終えていこえる時に 椿葉 豊子

暖房にくもりしガラス拭く時に指  
はいつしか君の名を書く 白浜美和子

コトコトと厨に大根の煮ゆる音戰  
時と変わらぬ老の食卓 沢田しづも

帰省して孫のさしだす年玉を両手  
に受けぬ胸あつくして 柳迫いづも

帰りきて（あけぼの苑）の出来事  
を語り聞せり姑は笑顔で 福田八重子

新らしき年のはじめの光なり古希  
すぎてなを明日をたのみぬ

短歌

おしゃべり屋 何時のバスに乗つ  
とかな 神無月  
本気かい 三十兆円くれてやる  
おしゃべり屋 とうと用事はうつ  
忘れ 本気かい あんまり馬鹿にやせん  
で呉れ おしゃべり屋 話の種もあるもん  
ぢや 万葉  
本気かい あいつと一緒になるとちや  
おしゃべり屋 有線放送の先をゆ  
き 本気かい 別るつとにや早すぎる  
おしゃべり屋 口から先に生まれ  
たッか (次笠) やかましか 知らんふり  
寅之助 一笠三句ずつ四月十日まで  
つなぎ文化センターへ

平成10年3月1日

◎薩摩街道(2)

熊本藩における街道の主要なものは四街道で、他に肥前街道があり、大分を発

津奈木町の眼鏡橋(石造拱橋)						
番号	名 称	所 在	長さ m	幅員 m	架設年次 (西暦)	右 工 備 考
(県 指 定)	重慶眼鏡橋	大字岩崎	18.0	4.5	嘉永2年(1849)	三平(岩永) 碩摩街瀬
(町 指 定)	1 中村眼鏡橋	大字岩崎	12.7	2.6	嘉永3-6年(1850-53)	三 平 現在町道
3 内野眼鏡橋	大字千代		7.0	3.6	嘉永6年(1854)	野津組 農耕用道
4 中尾眼鏡橋	大字津原木		9.4	1.4	嘉永6年(1854)	三 平 農耕用道
5 浜 眼 鏡 橋	大字岩崎		3.8	1.7	嘉永初期(1848年)	三 平 通 路
6 新村眼鏡橋	大字岩崎		1.7	1.5	"	通 路
7 寺前眼鏡橋	大字千代		8.0	3.2	嘉永7年(1854)	式田組
8 金山眼鏡橋	大字津原木		9.5	1.8	"	農耕用道
9 潟戸眼鏡橋	大字岩崎		9.0	3.5	"	硕摩街瀬

よりの道筋である。第四は日向街道で、御船・浜・馬見原を経、日向の延岡に達す道であるが、以上の四街道のうち第一と第二は熊本藩主、第三と第四は鹿児島藩主がよく利用していたとされている。藩ではこの四街道とそれ以外の道とを区別し、藩境に番所を設ける等して種々通行を取締まつた。その為地域色豊かで封領内の殖産・民生が主で「隣国」との交流は考えられなかつた。

幕末から明治初期に、日本にも石橋を架けるようになるが、国土は狭く、山地が多く、急流となり水量も増減が激しく、木橋では大雨のたびに流失し補修管理にあたる為政者・地元住民にとって大きな負担となつたので、明の帰化僧、如定が長崎の眼鏡橋を寛永十二年（一六三四）にかけたのが日本における最初の石橋といわれている。当津奈木（一八五〇頃）といわれる石造拱橋（眼鏡橋）が多い。特に重盤岩眼鏡橋は熊本県重要文化財くなつてゐる。

今年度最後のサークル活動は、二月十四・十五日に実施しました。心配した天気も無事に晴れたり、さわやかな日和の中、子供達は、最初の目的地・霧島ヶ丘公園で元気にはしゃぎました。特にゴーカートに人が集中し、一人で何回も乗る人、コース途中で止まる人など時間の過ぎるのも忘れるほどでした。しかし、何といっても有意義だったのは大隅少年自然の家での宿泊訓練でしょう。指導者の先生による体育館でのレクリエーション大会、二日

中尾地区公民館  
幸せを迎える

A black and white photograph showing a group of about ten people standing in a row outdoors. They are dressed in casual clothing, some with hats. In the foreground, a person is kneeling or sitting, holding a small, dark, rectangular object. The background shows a building and some trees.

